

【新刊情報】

株式会社オレンジページ

2026年2月19日

チャラン・ポ・ランタン 小春、波乱万丈の人生を綴る初エッセイ！

『アコーディオン弾きと小さい死神』2/27発売

唄とアコーディオンの姉妹ユニット「チャラン・ポ・ランタン」の姉・小春さんが、自身のプライベートを綴った書き下ろし初エッセイ『アコーディオン弾きと小さい死神』が、2月27日(金)、株式会社オレンジページ(東京都港区)より刊行されます。



クリスマスの日、（中略）アコーディオンが本当に届いた。おもちゃとして売られている小ぶりの楽器だったのだが、本当にうれしかった。サンタすげえマジすげえ、と思いながら一人で弾いた。（中略）その日から、小春のアコーディオン人生が始まったのである。

本書「しゃべらないヤツだった」より



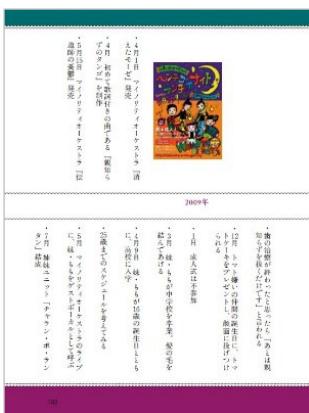
挿画／小春(チャラン・ポ・ランタン)

『アコーディオン弾きと小さい死神』(帯あり)

30年のアコーディオン人生、独立、結婚・離婚・再婚・妊娠を赤裸々に

フジテレビ系列「ぽかぽか」のテーマソングや、NHK「みんなのうた」の『どこ？どこ？』など、幅広い層に愛される唯一無二の楽曲を多数生み出してきた「チャラン・ポ・ランタン」。アコーディオンを奏でる姉・小春さんの知られざる波乱万丈の人生が、このたびついに一冊に！ 7歳のとき、サンタさんに「アコーディオンがほしい」と手紙を書いたことからスタートした、実に30年にも渡るアコーディオン人生を軸に、大道芸や音楽活動、独立、結婚・離婚・再婚・妊娠、出産時の事故で「重症心身障害児」と診断された愛息への思い、そして今を、小春さんならではの文体で赤裸々に綴ったファン待望の本書。表紙を飾る印象的な装画・題字は、様々なアーティストの宣伝美術やグラフィックデザインを手がける石塚立木氏(tatekingraphic)が描き下ろしました。

ファン必読の「年譜」も収録！



巻末には、主な作品(楽曲)と、その当時の主なできごと(極私的なものも)が一覧で見られる「年譜」を13ページに渡って掲載。小春さんの誕生、妹・ももさんの誕生、高校の授業後に大道芸を行う日々を経て、姉妹ユニット「チャラン・ポ・ランタン」を結成。その後の活動や世の中の動きetc. 小春さんの視点で当時を振り返り、それぞれの曲が生まれた背景を想像することができる、充実の資料となっています。子ども時代や学生時代の貴重なプライベート写真も必見です！

【目次】

しゃべらないヤツだった／終わりは、来ます／そして暇になった／最後のロールキャベツ／電話を切ると死ぬらしい／ホームレスになりたい／砂まみれの自宅／めちゃくちゃ下手くそ／パリに行きたいです／親知らずを抜いた／なんとなく始まったユニット／消えたモーゼ／消えたマネージャー／火災ライブ／531台売れた日／マロングラッセとチョコレート／息子、誕生。／ゴミ箱を空にする／小さい死神
あとがき／チャラン・ポ・ランタン profile／年譜

■チャラン・ポ・ランタン 小春

1988年生まれ。アコーディオン奏者、ソングライター、大道芸人。2009年に妹・ももと姉妹ユニット「チャラン・ポ・ランタン」を結成。バルカン音楽、シャンソンなどをベースにあらゆるジャンルの音楽を取り入れた無国籍のサウンドや、サーカス風の独特な世界観で、日本のみならず海外でも活動の範囲を広げている。

X(@suttokodokkoiii)

Instagram(@suttokodokkoiii)



チャラン・ポ・ランタン 小春 『アコーディオン弾きと小さい死神』

2026年2月27日(金)発売 定価2,310円(税込)

四六判、アジロ綴じ、カバー付き、196ページ

<https://www.orangepage.net/books/2028>



<このリリースに関するお問い合わせ先>

〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル16F 株式会社オレンジページ

総務企画部・広報担当 遠藤 press@orangepage.co.jp

【2/2】